



# 第47回衆議院議員総選挙終わる！ 支持拡大の取り組みに感謝！！

# 5期目の当選果たす 近藤洋介氏

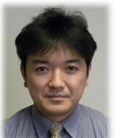
## 小選挙区では惜敗するも

## 比例区で復活当選！！

※次ページに各市町別開票結果を掲載

### 【近藤洋介氏必勝の取り組みに感謝と御礼】

連合山形置賜地域協議会  
議長 齋藤貴裕



第九回定期総会も無事終了し、決意も新たに二〇一五年度の活動を開始して参りますが、まずは十一月二十一日に解散し、翌月二日公示、同月十四日投票で実施された第四十七回衆議院議員総選挙では、連合山形・置賜地域協議会推薦の山形県第二区候補者近藤洋介氏必勝に向けた各組織での取り組みに、心から感謝と御礼を申し上げます。非常に短い期間での取り組みでもあり、皆様には各地区個人演説会や投票啓蒙活動において急な要請や難しい依頼などもあったかと思えます。結果についてはご案内の通り、非常に厳しい選挙戦であり、小選挙区においてあと一歩及びみせんでしたが、皆様のご支援とご協力により、東北ブロックで比例復活当選を果たすことができました。

近藤洋介氏には、引き続き働く我々の思いを国政に届けていただきたいと思いますし、連合としてもこれまで以上に支援をしていきますので、引き続き宜しくお願いします。

全国的には自民党の圧勝という結果になり、自民党の横暴な国会運営が継続することとなりましたが、この状況を少しでも改善するためにも、まずは、来年四月に予定されている統一自治体選挙での、連合推薦議員全員の当選が必要です。まずは地方からあるべき政治の姿を作っていきたいと考えますので、皆様の引き続きのご支援とご協力をお願いします。

最後になりますが、連合置賜地協議長就任二年目として、まずは構成組織の皆様と情報共有、課題認識の共有を行いながら連合運動の取り組みを進めて参りたいと考えております。その為には、構成組織の皆様と連合の取り組みに積極的に参加いただくことが非常に重要となりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いします。共に頑張りましょう。

# 第47回衆議院議員総選挙 山形県第2区開票結果

結果	候補者名	所属	第2区計	得票率	惜敗率
小選挙区当選	鈴木 憲和	自前	97,915	49.1	100
比例復活当選	近藤 洋介	民前	90,420	45.3	92.3
	白根沢 澄子	共新	11,086	5.56	-

## 山形県第2区 市町別得票結果一覧

当日有権者数 331,727人（県2区投票率 61.09% ※県2区期日前投票者数 36,634人）

### 【置賜地協担当地区開票結果勝敗】 3勝5敗

■米沢市	投票率 56.53%
近藤 洋介	19,394
鈴木 憲和	15,870
白根沢 澄子	3,370

■南陽市	投票率 61.52%
鈴木 憲和	9,922
近藤 洋介	5,797
白根沢 澄子	865

■長井市	投票率 60.82%
近藤 洋介	6,697
鈴木 憲和	6,661
白根沢 澄子	601

■高畠町	投票率 58.86%
鈴木 憲和	5,945
近藤 洋介	5,004
白根沢 澄子	720

■川西町	投票率 58.09%
鈴木 憲和	3,975
近藤 洋介	3,581
白根沢 澄子	429

■白鷹町	投票率 68.82%
鈴木 憲和	4,405
近藤 洋介	3,546
白根沢 澄子	447

■小国町	投票率 70.32%
近藤 洋介	2,361
鈴木 憲和	2,230
白根沢 澄子	230

■飯豊町	投票率 66.47%
鈴木 憲和	2,065
近藤 洋介	2,029
白根沢 澄子	131

### 【北西村山地協担当地区開票結果勝敗】 3勝6敗

■東根市	投票率 58.24%
鈴木 憲和	11,840
近藤 洋介	9,119
白根沢 澄子	1,003

■寒河江市	投票率 59.71%
近藤 洋介	9,719
鈴木 憲和	9,594
白根沢 澄子	955

■村山市	投票率 60.54%
鈴木 憲和	6,895
近藤 洋介	5,475
白根沢 澄子	693

■尾花沢市	投票率 65.09%
近藤 洋介	4,863
鈴木 憲和	4,370
白根沢 澄子	376

■大江町	投票率 69.56%
鈴木 憲和	2,434
近藤 洋介	2,387
白根沢 澄子	237

■朝日町	投票率 71.23%
鈴木 憲和	2,519
近藤 洋介	1,791
白根沢 澄子	225

■西川町	投票率 71.46%
鈴木 憲和	1,755
近藤 洋介	1,702
白根沢 澄子	175

■河北町	投票率 65.21%
鈴木 憲和	5,374
近藤 洋介	4,631
白根沢 澄子	482

■大石田町	投票率 70.78%
近藤 洋介	2,324
鈴木 憲和	2,061
白根沢 澄子	147



# 第47回衆議院議員総選挙活動フォト

【はじめに】

1月22日（土）に開催されました近藤洋介事務所開きを皮切りに、投開票翌日の朝立ちに至るまで、連合置賜地協は様々な形で近藤洋介5期目の再選に向け精力的に支援を行って参りました。

年末の大変お忙しい中、そして例年に無い大雪の中ご協力いただいた構成組織全ての皆さまに心より感謝と敬意を表しつつ、山形新聞情勢記事抜粋等も交えまして、この間の活動フォトを掲載させていただきます。

## 県内小選挙区の立候補者

各区、上から届け出順

【名鑑の見方】氏名の横は年齢（投票日14日現在の満年齢）、党派の略称は自=自民、民=民主、共=共産、派、前新別。①現職②最終学歴③主な経歴④出身地。党派の略称は無=無所属

3区

2区

1区

あべ じゆいち 阿部 寿一 55 無前



①無職②東京大③衆院議員、酒田市長(4期)、旧建設省大臣官房人事課長補佐、旧総理府出向、鳥取市企画部長。当選1回④酒田市

よしだ たいせい 吉田 大成 45 民新



①党県第3総支部長②東洋大③神奈川県議(4期)、県議会商工労働常任委員長、党県議団政調会長、衆院議員秘書④川崎市

はせがわ つよし 長谷川 剛 36 共新



①政党役員②羽黒高③党鶴岡地区副委員長、党県委員、党山形3区国政対策委員長。党鶴岡地区委員長④鶴岡市

かとう あゆこ 加藤 鮎子 35 自新



①党県3区支部長②米コロンビア大③地域政策研究会代表。経営コンサルタント、衆院議員秘書、日本国際交流センター④鶴岡市

さとう まこと 佐藤 誠 66 無新



①政治評論家②日本大法学部③自営業。会社員④酒田市

こんどう ようすけ 近藤 洋介 49 民前



①党県連会長②慶応大③党国会対策副委員長。経済産業副大臣、党副幹事長、経済産業政務官、日経新聞記者。当選4回④山形市

しらね ざわすみ 白根 澄子 64 共新



①政党役員②法政大③党置賜地区副委員長、米沢9条の会運営委員長。米沢市議、米沢公共職業安定所相談員④米沢市

すずき のりかず 鈴木 憲和 32 自前



①党県2区支部長②東京大③党農林部会副部長、党PPP交渉国会長、党TPP交渉国益守り抜く会事務局長。農水省職員。当選1回④東京都杉並区

いしかわ しやう 石川 渉 41 共新



①政党役員②山形大③党山形1区国政対策委員長、党県委員、党村山地区常任委員。日本民主青年同盟県委員長④千葉県佐倉市

えんどう としあき 遠藤 利明 64 自前



①団体役員②中央大③党教育再生実行本部長、党政調会長代理、県連会長。党幹事長代理、文科副大臣、県議2期。当選6回④上山市

はらだ まさひろ 原田 和広 41 民新



①党県第1総支部長②英ケンブリッジ大院③セラフイム常務、東北福祉大サポータースタッフ、社会福祉士④山形市

第47回衆議院選は、2日公示され、14日の投開票に向けて12日間の選挙戦が始まっ

# 安倍

党派	合計	女性	小選挙区	
			計	前
自民	352	42	283	267
民主	198	29	178	61

【十二月三日付け山形新聞】



【11月22日（土）事務所開き】



【11月30日（日）吉村知事激励事務所来訪】



【12月2日（火）必勝祈願祭 ※上杉神社にて】





【12月2日（火）出陣式 ※グランドホクヨウにて】



近藤 洋介候補（民前）  
 米沢市の上杉神社での必  
 勝祈願に続き、グランドホ  
 クヨウで出陣式を行った。  
 流行語大賞にかけて「安倍  
 政権に付き合っていくか、  
 ダメよとノーを突きつける  
 かが争点だ」と大泉敏男連  
 合山形会長。玄関前で第一  
 声を上げ、選挙カーから半  
 身を乗り出す得意のパフォ  
 ーマンスで集まった支援者  
 の声援に応えた。市役所前  
 でも決意表明。小国町を除  
 く置賜全域を回った。

2区

【十二月三日付け山形新聞】





2区

# 【十二月三日付け山形新聞】



鈴木憲和候補 (32)

自前

## 景気回復これから実感

私が今ここにいられるのも、地域で支えてくれる人たちのおかげであり、これから地域の未来のために頑張りたい。2年間、自公政権は景気回復を第一に掲げ頑張ってきた。アベノミクスの効果は、まだ地方で実感できていない



白根沢澄子候補 (64)

共新

## 国民の声生かす政治に

アベノミクスだけが争点ではない。安倍政権全体が問われる選挙だ。国内総生産（GDP）がマイナス成長になるなど増税不況に陥っている。増税は延期ではなく、中止するべきだ。



近藤洋介候補 (49)

民前

## 地域に力与える政策を

アベノミクスで地方と大都市の格差は広がった。株は上がったが、燃料や輸入食品の値段は上がり、賃金の上昇が追いついていない。必要なのは地域に力を与える政策だ。第一に急激な円安対策。燃料、ガソリンが高止まりして

だ。山形大と連携し中小企業が技術開発や新しい仕事ができる拠点をつくる。

集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を撤回し、憲法9条を持つ国にふさわしく、国際紛争は対話と交渉による平和外交で解決すべきだ。原発ゼロを目指し、再生可能エネルギーに転換し、地域に新産業を生み出す。数の力で政策を押し進める政治から国民の声が生かされる政治に変える大きなチャンスだ。

のために頑張ってくれ」との言葉をいいたく、その気持ちに応えられる政治家になる。もう一つは地方創生。持続可能な地域にするには何が必要かを住民が考え、行動することこそが地方創生だ。本県には豊かな農林水産品や森林資源、ものづくりの技術がある。これらを使い、東京から人を戻す政策を実現させる。



【12月3日（水）蓮舫参議院議員激励事務所来訪】



【12月5日（金）～12月12日（金）までの置賜各地区個人演説会】



(12/5 小国地区)



(12/5 飯豊地区)



(12/7 川西地区)



(12/9 米沢総決起集会)





(12/9 米沢総決起集会)



(12/10 白鷹地区)



(12/10 長井地区)



(12/12 南陽地区)



演説する民主党の野田佳彦  
前首相＝高島町中央公民館

## アベノミクスは失敗

民主・野田氏 米沢、高島で演説

民主党の野田佳彦前首相 演説し、安倍晋三首相の政  
は9日、米沢市と高島町で 権運営について「これから

4年間政権を担ったら、身  
勝手に法律を拡大解釈して  
運用し、身勝手なことをい  
っぱいやる」と述べ、警戒  
感を示した。

高島町の演説で野田前首  
相は、安倍首相の衆院解散  
を「身勝手な解散」と断じ  
た。アベノミクスについて  
は「大企業はもうかること  
ができたが、中小零細企業  
農家には効果が届いていな  
い。努力したら報われる日  
本をつくるのが政治の役割  
だが、働いても実質賃金は  
下がり続けている。その点

でアベノミクスは失敗だ」  
と強調した。

一方、議員定数削減を実  
現していないとして安倍首  
相を批判。野田前首相が衆  
院解散を表明した2年前の  
党首討論に触れ「国民の見  
ている前で、議員定数削減  
を約束してくれるなら解散  
すると言ったが、(安倍首  
相は今回)何も努力をしな  
いで解散総選挙。はらわた  
が煮えくりかえる思いだ」  
と述べた。

衆院選県2区の同党公認  
候補の応援で来県した。

【十二月十日付け山形新聞】



# 【十二月六日付け山形新聞 中盤戦情勢】

2区

## 鈴木氏に近藤氏迫る

1区

## 遠藤氏、大きく先行

県内の3小選挙区に計11人が名乗りを上げた第47回衆院選は14日の投票まであと10日。山形新聞社は3日までの2日間、特別世論調査を実施、本社と支社の取材を加味し、選挙区ごとの中盤情勢を探った。

(敬称略)

### 県内3小選挙区 中盤情勢

3面に  
詳報

70歳以上で比較的支持が高いいものの、各年代とも浸透に苦慮している。

た鈴木がややリードを保つ。自民支持層の多くをまとめ、組織力で引き離しにかかる。北村山で優位に立ち、20、30代などからの支持が高い。

# 鈴木氏、組織力生かす

# 近藤氏、草の根で拮抗

2区

近藤 洋介 49 民前  
白根沢澄子 64 共新  
鈴木 憲和 32 自前

分厚い組織力で連勝を目前にする。豪雨被害対応などと与党議員としての実績を強調。環太平洋連携協定(TPP)や米価下落などの逆風が気掛かりだが、県農協政治連盟の推薦を得たのは好材料だ。

鈴木は支援する首長と県議の数で圧倒、約130人の市町議が名を連ねる後援組織も強力にバックアップ

する。豪雨被害対応などと与党議員としての実績を強調。環太平洋連携協定(TPP)や米価下落などの逆風が気掛かりだが、県農協政治連盟の推薦を得たのは好材料だ。

地元南陽、高畠は動きが活発で、新市長誕生に貢献した村山、市長土田正剛が支援表明した東根でも勢いを増しつつある。鍵となる米沢市内では約120社で組織する企業後援会が発足した。公明と連携した個人

演説会の動員力を武器に盛り上げを図る。近藤は地区ごとの後援の連携で草の根戦を展開。前回票を減らした農村部では意見交換会を連日開催し、反転攻勢を掛ける。無党派の取り込みが鍵を握るが、選挙への関心の低さに苦慮している。

地元米沢では、前回出馬した維新候補がいないのは好材料だが、共産元市議の参戦もあり、圧倒するには

至っていない。前首相野田佳彦の米沢入りが9日に決まり、起爆剤にしたい考え。北村山は尾花沢、大石田で善戦しているが、全体では苦戦。元労相の父鉄雄が地盤とした寒河江・西村山の票を固められるか。

白根沢は市議4期の実績を生かし、米沢では共産票を上積みしそつだ。

現選挙区で過去元職の鹿野道彦り広げてきた遠安定した戦いぶ公明の両支持層とめ、民主支持込む。遅れが響き、民の浸透も、まだ40代、60代、

共産新人の石川渉は共産支持層もまとめきれず、広がりを欠いている。県2区は前回初陣を飾った上で、自民、維新、公明の各支持層に加え、無党派層にも食い込み、追撃の構え。西村山で優勢な戦いを進めている。60代などで鈴木を上回る支持がある。共産新人の白根沢澄子は2候補の争いに割って入ることができていない。



入選標語の作者  
長井市九野本、無職渡部紀「云きちろくさん(74)」「衆院議員の任期4年を考えると、前回から約2年後の今回の選挙はいわば中間テスト。有権者は、試験官として投票してほしい」

自民 300

全国世論調査

## 歴史

## 全候補者

### 者数

第 県内 候補 性候 合は 照



【12月3日(水)～12月13日(土)までの事務所前勝手連朝立ち】



【12月7日(日)及び12月13日(土)米沢市内勝手連の集い】





# 氏先行、近藤氏 追う 氏、阿部氏 競り

## 鈴木氏 抜け出す構え

### 近藤氏 激しく追い上げる

2区

近藤 洋介 49 民前  
白根 澄子 64 共新  
鈴木 憲和 32 自前

組織力で上回る鈴木が競り合いから抜け出そうとしている。無党派層に食い込

む近藤が激しく追い最終盤に入った。投票率次第で予断を許さない。

鈴木は公明との共闘態勢が整い、勢いを増している。鈍さが見られた首長や県

議、市町議の動きも活発化し始め、各地の演説会で動

員力を発揮。懸念された環

太平洋連携協定（TPP）や米価下落などによる逆風は限定的で、県農協政治連盟の推薦を得て農村票も手堅くまとめている。

地元の南陽市などでリード、新市長誕生に貢献した

村山市、市長土田正剛が支援表明した東根市でも引き

離しにかかっている。米沢市は出遅れたが、建設業を軸にてこ入れし巻き返しに入

った。長井市や西置賜では、わずかに先行している。

近藤は後援会と連合山形がフル回転して草の根戦を展開。無党派層への支持拡大を狙うが盛り上がり欠ける選挙に苦慮しており、投票参加も呼び掛ける。連日、農業者と意見交換を重ねているものの、強い追い風にはつながっていない。

地元の米沢市では製造業人。

を固め、わずかながら優位に立ち、無党派を取り込み勢いを拡大したい考え。8日に党代表代行の岡田克也が来県、9日に前首相野田佳彦が米沢入りした効果にも期待する。寒河江市は元労相の父鉄雄時代からの支持者を軸にした活動で、やや優位に立っている。

白根は二大政党に対する批判票の掘り起こしを目指す。

有権者数は33万2506

県1区では組織力に勝る遠藤が、後援会のほか女性や企業関係者の後援組織を使って支持者を引き締めるとともに、系列の県議や市町議らとも連携し、選挙区全域で盤石な戦いを進めている。党務で選挙区を空けることも多いが、影響はみられない。

原田は出馬表明が衆院解散と同じ先月21日。急ぎよの出馬となり、知名度不足

の解消に苦慮している。民主元職の鹿野道彦の支援者や連合山形を足掛かりに、浸透を急ぐ。共産新人の石川渉は共産支持層以外に支持を広げられるか。県2区では鈴木が置賜と北村山で優勢で、ラストスパートで接戦から抜け出そうとしている。動きの鈍さが指摘されていた組織は終盤によりやく活発化。支持

者	
新前新	前新前
産民主	主産民
属主産民	属主産民
属	属

共産新人の白根澄子は共産支持層が切り崩され、苦戦している。

## 【十二月十日付け 山形新聞終盤戦情勢】



【12月7日（日）及び12月13日（土）米沢市内勝手連の集い】





【12月7日（日）及び12月13日（土）米沢市内勝手連の集い】



【12月13日（土）マイク納め】





【12月14日（日）開票を見守る会 ※グランドホクヨウにて】





# 【十二月十八日付け 山形新聞選挙戦総評】

織が「大量得票」を目標に掲げ活発に動き、盤石な戦いで7選を果たした。大規模集会や演説会などで組織の票を手堅くまとめ、3市2町でいずれも他候補を圧倒する快勝だった。

急ぎよの出馬となった民主新人の原田和広氏(41)は遠藤氏と長年争った元農相の鹿野道彦氏や連合山形などから支援を受けたが、浸透しきれなかった。

県2区の鈴木氏は前回同様、自民支持層を軸に組織戦を展開した。当初は動き

の鈍さが指摘されたが、選挙戦中盤から公明との連携強化などを機に活発化した。地元の南陽市をはじめ幅広い支持を集め、安倍晋三首相の選挙区入りも強い追い風に、追いつがる近藤氏を振り切った。

近藤氏は後援会と連合山形などを軸にした運動で無党派層に食い込み、追い上げたが、盛り上がり欠ける選挙戦のムードに最後まで苦しんだ。農業者との意見交換などで地道に票を積み上げ、踏みとどまって比

例で復活当選した。県3区は前回に続き分裂の激しい戦い。民主支持層も分断さ図で混迷の度合いがた。その中で、加藤元後援会を基盤に党にした戦いを展開。

の共闘や、父親で元事長の加藤紘一氏の体との連携も機能し属前職の阿部寿一氏かわした。

阿部氏は元酒田市長職としての実績を掲守層に加え、民主支

## 鈴木氏、終盤抜け出す

### 比例復活 近藤氏、低投票率響く

2区

組織力に勝る自民前職の鈴木憲和が、終盤競り合いから抜け出し連勝を飾った。無党派層が強みの民主前職の近藤洋介は、低投票

率響き小選挙区での雪辱はならなかったが、比例東北ブロックで復活し5選を果たした。

鈴木は党を前面に出した重厚な布陣で臨んだ。首長選で存在感を発揮したほか、豪雨災害での対応など

与党議員としての実績を強調。首長や県議、市町議の動きが鈍く上滑りが懸念されたが、選挙戦中盤から活発化した。前回同様、公明との共闘態勢により各地の演説会では、動員力で軒並み近藤を圧倒。終盤には首

相安倍晋三や復興政務官小泉進次郎など大物を相次いで投入し、逃げ切った。

地元南陽市で前回に続き引き離れた。新市長誕生に貢献した村山市、市長土田正剛が支援表明した東根市などで優位に立ち、米沢市は建設業を軸にてこ入れしたが、出遅れが響いた。懸念された環太平洋連携協定(TPP)や米価下落などによる逆風は限定的で、県農協政治連盟の推薦を得て農村票を手堅くまとめた。

近藤は地区ごとの後援会、経営者組織、連合山形の連携で草の根戦を展開。支援者や企業を回り、農業者との意見交換を連日重ねるなど、有権者に直接訴える戦いに徹した。アベノミクス批判を切り口に「地域に力を」のスローガンを掲げ、中小企業と農家対策を強調。原油高騰対策、戸別所得補償制度の完全復活は好感を得た。前回のような逆風はなかったが、盛り上がり欠ける選挙ムードに

最後まで苦慮した。米沢市は製造業を固め、前回に続き牙城を守った。元労相の父鉄雄が地盤とした寒河西村山では前回の失地を回復できなかった。終盤になって前首相野田佳彦、前外相玄葉光一郎を送り込み応戦したが、タレントぞろいの自民に動員力で引けを取った。

共産新人の白根沢澄子は、二大政党への批判の受け皿を目指したが、浸透できなかった。



鈴木憲和さん(32)の陣営が米沢市のJA山形おきたま米沢支店で開いた開票を見守る会。午後10時半、当



比例復活当選の一報で、感極まり喜びをかみしめる近藤洋介さん  
＝米沢市

# 比例復活、喜びかみしめ

## 近藤さん

「地域に力を取り戻すという主張をずっと言い続けてきた。共感をいただけただけと確信している」。小選挙区の敗北が確実となった約1時間半後、比例代表での復活当選が決まった近藤洋介さん(49)はかみしめるように語った。

午後9時40分ごろ、支援者らが待つ米沢市内の開

票を見守る会会場に到着。

午後10時35分ごろ、対立候補の当確が伝わると、一度は敗戦の弁を述べ、復活当選を信じ会場に残り、開票状況を静かに見守った。15日午前0時10分ごろに比例復活の報が入り、会場は歓声と拍手に包まれた。近藤さんは「前回より得票を増やせたことは皆さまのおかげだ」と力を込め、「ありがとうございませう」と再び深く頭を下げた。





## 近藤洋介さん

比例



市民に感謝と決意を伝える  
近藤洋介さん 〓米沢市

# 票の重み受け止め決意

比例東北で復活当選した近藤洋介さん（49）は午前7時半から、米沢市役所前でつじ立ち。積雪は60センチを超え、踏み固めた雪の上から「9万420票の重みを受け止め、地域に力を取り戻す政策を全力を尽くして進めていく」と決意を語った。

当選決定後、支援者への報告に向かい、睡眠は3時間ほど。家族と話す時間はなかったが、大学受験の長男からおめでとうメールが届いたといい「心配をかけたけどありがとう。勉強頑張れ」と返信した。支持者や支援団体へのあいさつ回りが数日続くという。



2014 衆院選

関係 県 当選者に聞く

《4完》

―選挙の結果が出た。率直な感想は。

「小選挙区で勝利できなかったのは残念だが、低投票率の中で2年前に比べ票を増やすことができ、惜敗率で再び議席を預かることができた。有権者からの期待と受け止め、大きな責任を感じている」  
―有権者の反応はどうだったか。

「全国的には与党が信任を得た結果になったが、アベノミクスは曲がり角に来ているという指摘は共感が得られたと思う。前回の衆院選に比べて、全ての地区で期待の声が多く寄せられ、目を追うごとに高まっていった。地域の声を聞き、国に伝えるという2年間の議員活動が評価された結果だと受け止める」

比例 近藤 洋介氏 (民主)

―雪辱はならなかった。陣営としての反省点は。

「小選挙区で敗れたという結果は候補者の責任にほかならない。陣営は後援会を中心に連合山形からも力をもらい、手弁当でよくやってくれた。相手の候補者個人というより、巨大与党を向こうに回し戦ってきた。短期間だからこそ、空中戦ではなく、一人一人に会って支援を呼び掛ける地上戦に主眼を置いて立ち向かった方向性は間違っていない。維新ともう一步踏み込んだ連携が必要だったが、受け皿作りに至らなかった。短

経験生かし地域貢献

反自民の受け皿力足りず



る地上戦に主眼を置いて立ち向かった方向性は間違っていない。維新ともう一步踏み込んだ連携が必要だったが、受け皿作りに至らなかった。短

―またも比例復活。今回、一歩足りなかったのは何か。

「自民への批判は間違いなくあるし、不満も間違いなくある。ただその受け皿として、今の民主ではまだ弱かったという点は否めず、投票率の低

下にもつながったのかもしれない。維新ともう一步踏み込んだ連携が必要だったが、受け皿作りに至らなかった。短

期間の選挙で(野党の準備が整わない間に)逃げ切ろうと

ながら、それに抗しきれなかった。(低投票率につながった) 天気は与野党ともお互い

さま。それをね返すだけのメッセージが弱かったのだから

―野党第1党の議員としての役割は。

「2度の選挙で巨大与党が誕生した。それ故、何でも反対すればいいとの立場は取れないが、国民の信頼が得られる対抗軸は必要。次の選挙ま

で構築していかなければならない。また、吉村美栄子知事からも激励を受けており、5期目の経験を生かし、これからさらに国会活動や地域貢献を積んでいきたい」  
―千票以上離れた市は首長選のあったところ。どう分析するか。

「直近の市長選で静観した長井市では今回勝った。負けるところも差を詰めている。自治体により特殊事情があり(首長選への関与と票は)リンクしていない」  
―県1、3区に候補者を擁立したものの大差で敗れた。党県連会長としてどう受け止めるか。

「1区は大健闘、3区も11年間候補者を出していなかった政治状況の中でよく戦った。ただ結果は結果。全選挙区に候補者を擁立できたのは東北では山形県のみで、戦うことに意義があった。戦い続けていくことにより展望は開ける。きょうからが再スタートだ」